

2025 年 Q1（第 1 四半期）の米国 VC 投資動向

本稿では、Venture Monitor Q1 2025 のデータに基づき、2025 年 Q1（1～3 月）の米国 VC 投資動向を概観する。

【総括】

米国政権の交代が米国 VC マーケットに与える影響について、2024 年末から年初にかけては、若干の不確実性は存在するものの、2025 年に向けて楽観的な観測もみられていた。しかし、最近のトランプ関税を巡る問題が VC の活動や IPO の計画にも大きな影響を与えており、Venture Monitor では、多くの VC 投資家が様子見の姿勢をとっているようだ、みている。

そうした中、2025 年 Q1 の VC 投資は、ファンド組成動向を除き、数字をみるかぎり、好調な滑り出しである。

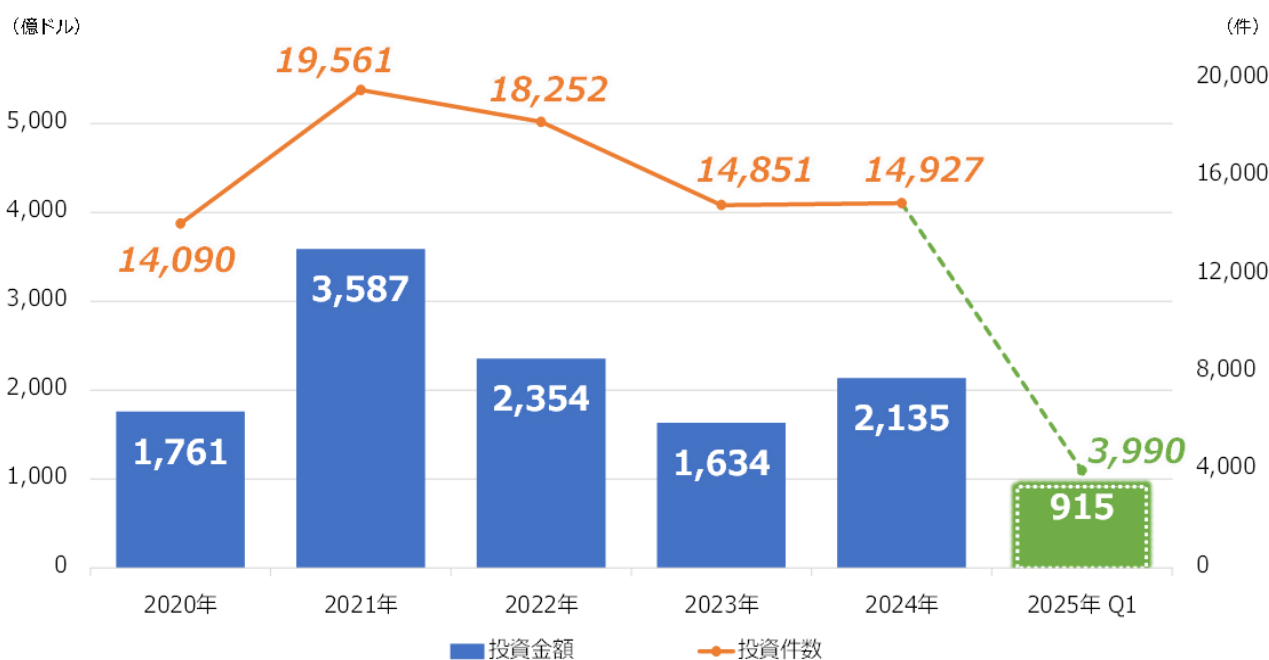
1. VC 投資

（1）2025 年 Q1 の VC 投資は、好調な滑り出し

① 2025 年 Q1 の VC 投資金額は前年比好調、一方、投資件数は前年ラップ並み

2025 年 Q1 の VC 投資金額は 915 億ドルと、前年の年間投資金額 2,135 億ドルとの対比で、すでに 42.9% に達している。一方、2025 年 Q1 の VC 投資件数は 3,990 件で、前年の年間投資件数 14,927 件に対し 26.7% と、前年ラップ並みの水準である（図表 1）。

図表 1 VC 投資の推移（金額・件数）



（出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成）

② 四半期推移：2025 年 Q1 の VC 投資金額は、前四半期から続伸

図表 2 で、2023 年 Q1 以降の四半期ごとの VC 投資金額の推移をみると、2025 年 Q1 は 915 億ドルと、前四半期（2024 年 Q4）の 772 億ドルから、2 四半期連続で増加している。この 2025 年 Q1 の 915 億ドルは、2021 年 Q4 の 1,010 億ドル以来、13 四半期ぶりの高水準に達し、久方ぶりに 900 億ドル台を回復した。

Venture Monitor によれば、大型案件の存在が 2025 年 Q1 の好調を支えた原動力であり、2025 年 Q1 の VC 投資金額 915 億ドルの 53.6%に相当する 490 億ドルが AI 部門の大型案件（OpenAI^(注1)：400 億ドル、Anthropic^(注2)：45 億ドル、Infinite Reality^(注3)：30 億ドル、Groq^(注4)：15 億ドル）によるもの、としている。

一方、2025 年 Q1 の投資件数も 3,990 件と、前年同四半期（2024 年 Q1）の 3,995 件と並ぶ水準にまで回復している。

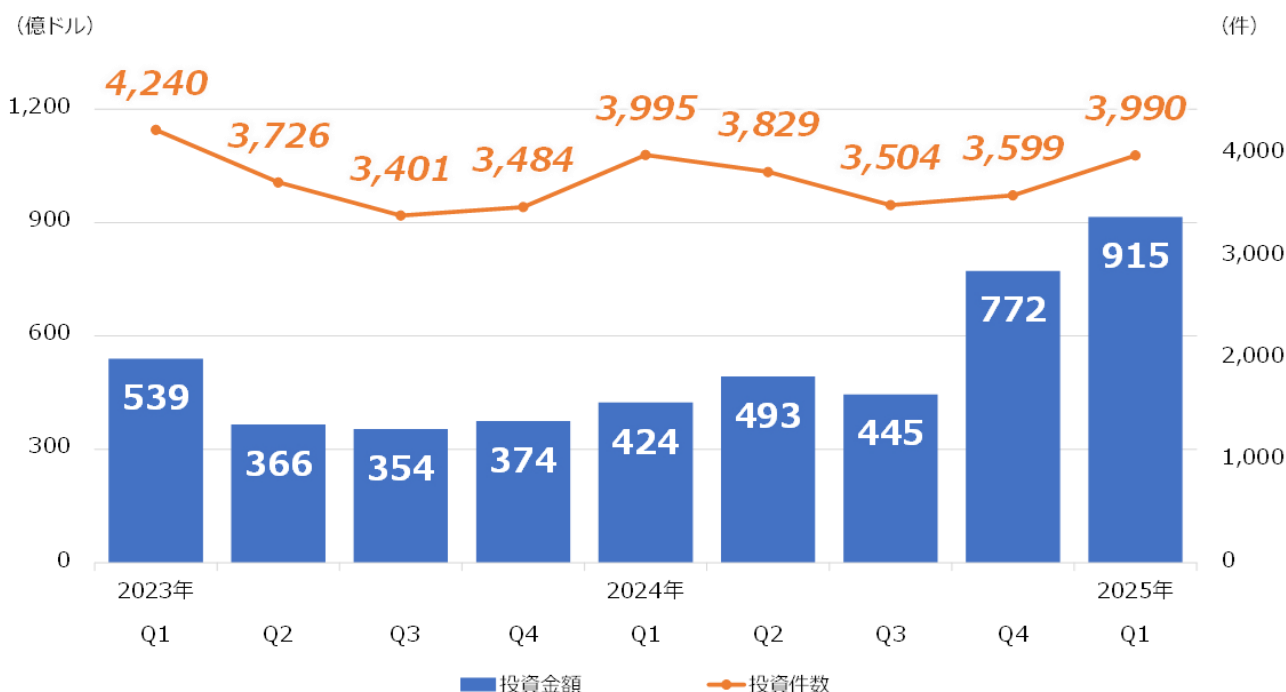
（注1）OpenAI は、米国のサンフランシスコに拠点を構え、AI の研究と開発を行う研究機関

（注2）Anthropic は、OpenAI 社の元幹部が創設した法人で、AI 技術の研究や開発、販売などを手掛けている

（注3）Infinite Reality は、バーチャルリアリティ（VR）と拡張現実（AR）に特化したスタートアップ企業

（注4）Groq は、言語モデル処理に特化した LPU（Language Processing Unit）を開発している会社

図表 2 四半期別 VC 投資推移（2023 年 Q1～2025 年 Q1）

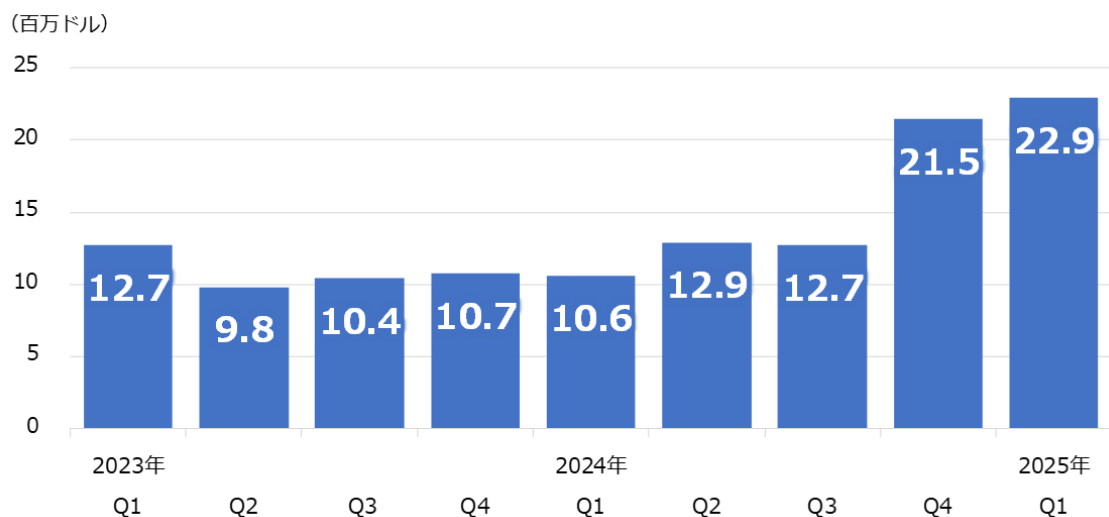


（出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成）

図表 2 のデータから算出した四半期ごとの平均投資金額を図表 3 に示す。

2025 年 Q1 の VC 平均投資金額は 22.9 百万ドルで、前四半期（2024 年 Q4）の 21.5 百万ドルを上回り既往ピークを更新した。この要因は、前述の大型案件の存在である。

図表 3 四半期別 VC 投資の平均投資金額推移（2023 年 Q1～2025 年 Q1）



(出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成)

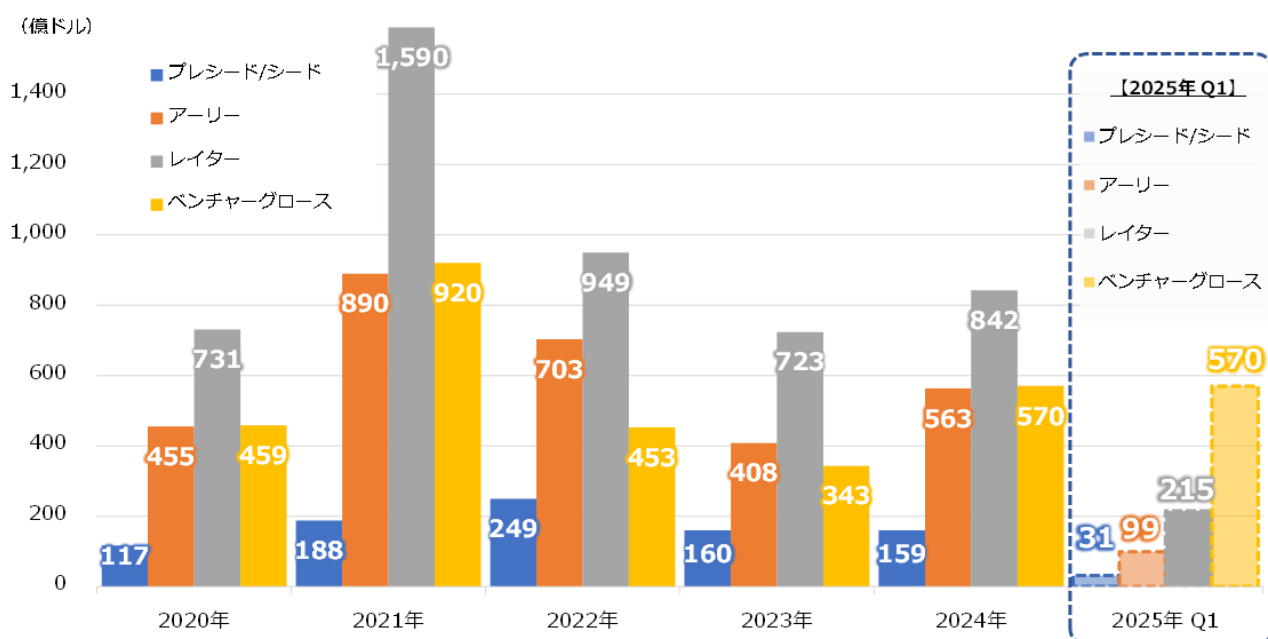
(2) 2025 年のステージ別 VC 投資動向

2020 年以降のステージ別投資金額は、図表 4 に示すとおりである。

各ステージについて、2025 年 Q1 の投資金額を前年 (2024 年) の年間投資金額と対比してステージ別のラップを算出すると、「プレシード/シード」は 19.5% (31 億ドル/159 億ドル)、「アーリー」は 17.6% (99 億ドル/563 億ドル)、「レイター」は 25.5% (215 億ドル/842 億ドル) と、いずれも前年のラップ並み、もしくはそれ以下となっている。

ところが、「ベンチャーグロース」のみ 100% (570 億ドル/570 億ドル) と、すでに前年 (2024 年) の年間投資金額に達しているが、これは前述の大型案件のうち、OpenAI の 400 億ドルが「ベンチャーグロース」でカウントされていることによる。

図表 4 ステージ別 VC 投資金額推移



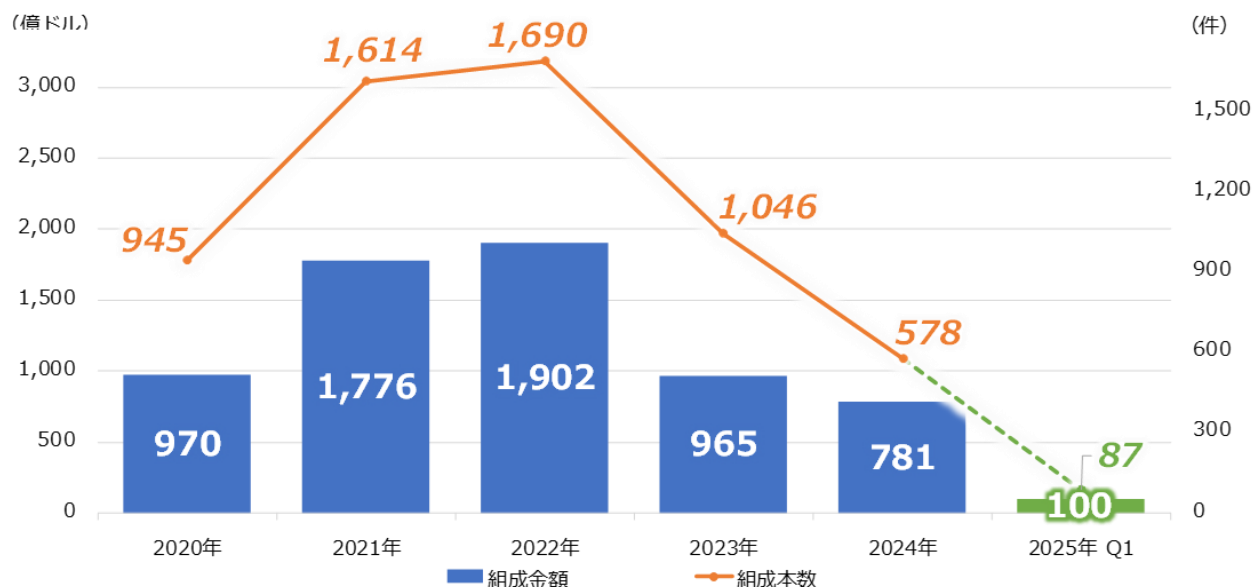
(出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成)

2. VC ファンド組成

図表 5 に示すとおり、2025 年 Q1 の VC ファンド組成金額は 100 億ドルと、2023 年通年の 781 億ドルのわずか 12.8%にとどまっている。

また、ファンド組成本数も 87 本と、前年通年の 578 本の 15.1%にすぎない。

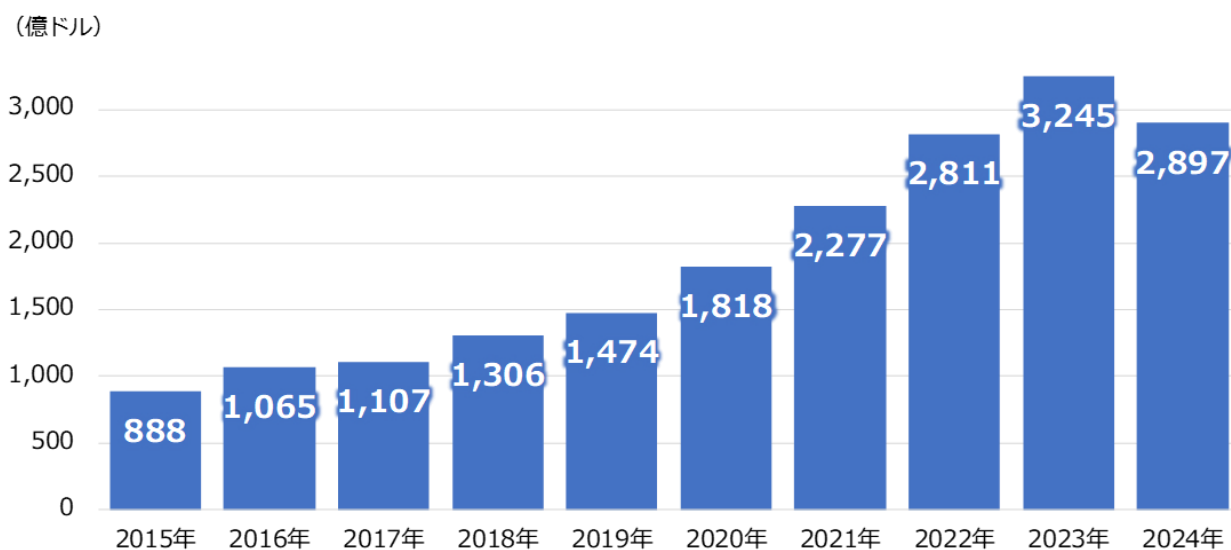
図表 5 ファンド組成推移



(出所 : Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成)

なお、これまで増勢の一途を辿ってきたドライパウダーも、2023 年 12 月末の 3,245 億ドルから、2024 年 9 月末現在で 2,897 億ドルへと減少に転じている (図表 6)。

図表 6 過去 10 年間の累積ドライパウダー残高の推移



(出所 : Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成)

(注) 2024 年のみ 9 月末現在。2023 年以前は 12 月末現在

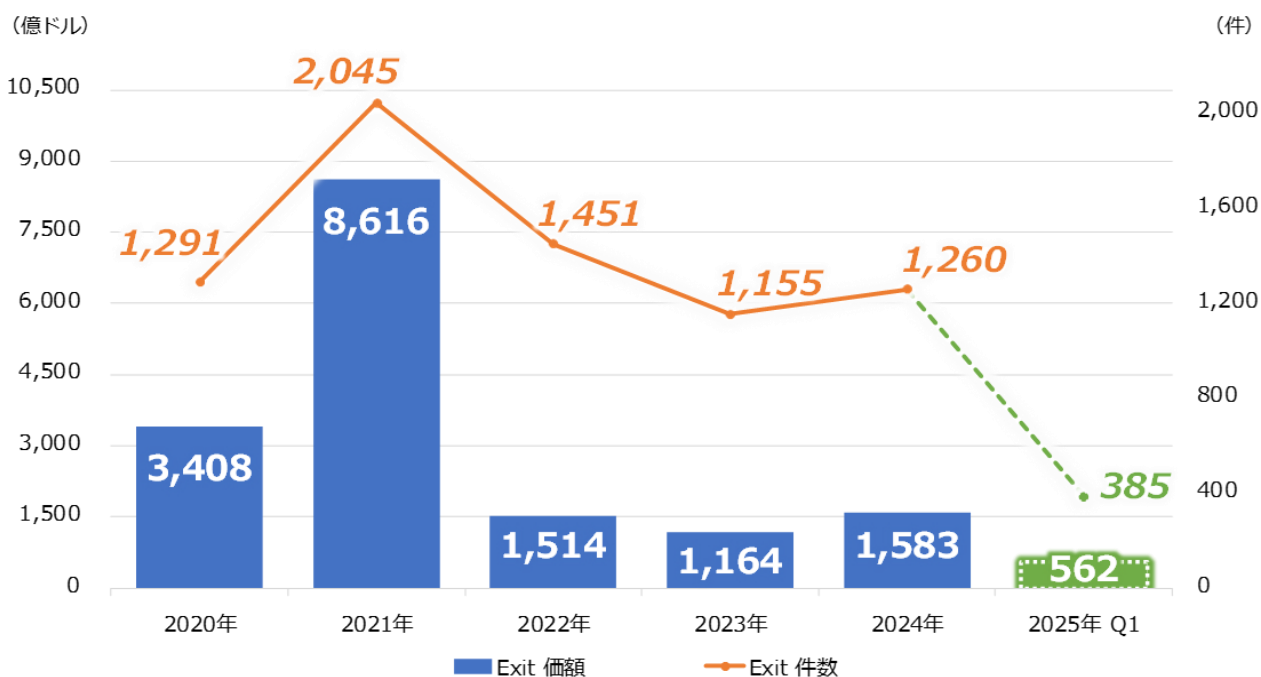
3. VC 出資先企業の Exit

2025 年 Q1 の VC 出資先企業の Exit 価額^(注5) は 562 億ドルと、前年（2024 年）の通年実績 1,583 億ドルの 35.5%の実績を記録し、前々年（2023 年）の通年実績 1,164 億ドルとの対比では 48.3%に達している（図表 7）。

（注5）Exit 価額は、VC 出資先の Exit 案件について、①株式公開時（IPO、直接上場、SPAC 経由のリバースマージャーを含む）のプレマネーバリュエーション額（株式公開前の段階での企業価値）、および、②買収金額が開示された M&A 金額の合計

なお、2025 年 Q1 の Exit 件数は 385 件で、前年（2024 年）の通年実績 1,260 件に対して 30.6%、前々年（2023 年）の 1,155 件との対比では 33.3%と、いずれもラップを上回っている。

図表 7 Exit の推移（価額・件数）



（出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成）

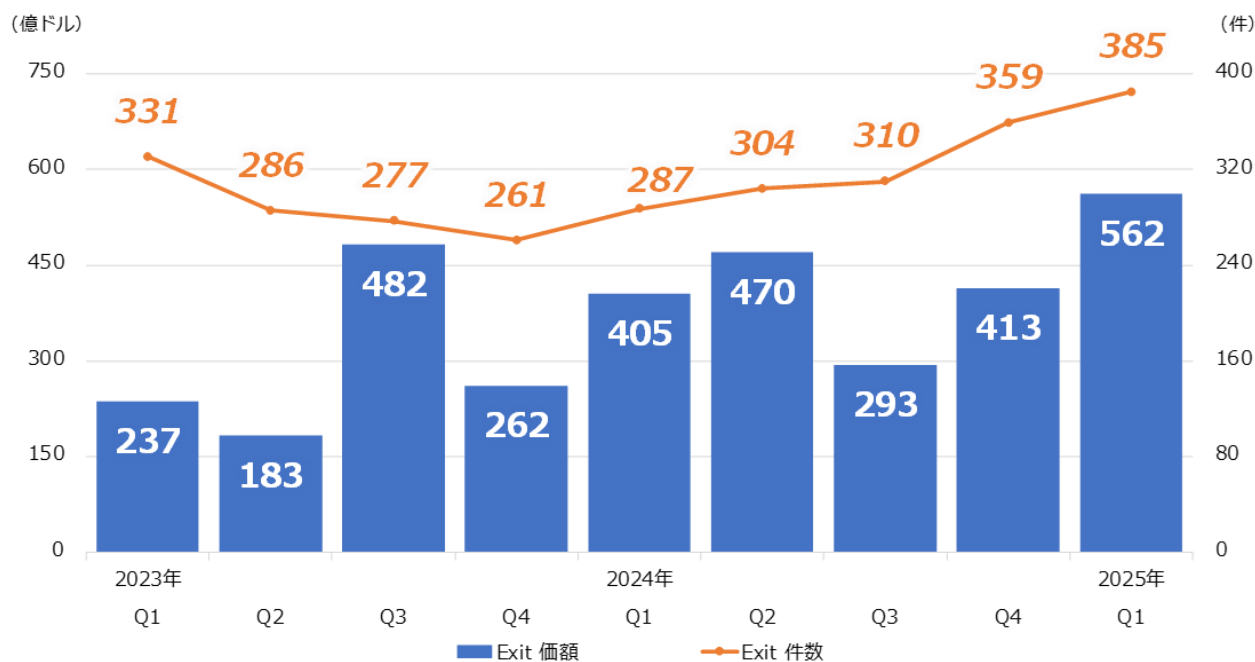
図表 8 は、2023 年 Q1 以降の Exit 動向を四半期別に示すグラフである。

Exit 価額については、2025 年 Q1 の 562 億ドルはここ 9 四半期のうちで最も多くなっており、さらに過去を遡ると、かつてのブーム期を締めくくった 2021 年 Q4 の 2,234 億ドル以来 3 年ぶりの最高額である。ただし、Venture Monitor によれば、この 2025 年 Q1 の Exit 価額 562 億ドルの 40%弱に相当する 217 億のプレマネーバリュエーション額が Core Weave^(注6)、1 社による IPO だったとしている。

一方、Exit 件数についても、2025 年 Q1 の 385 件は 2023 年 Q1 以降の 9 四半期で最も多くなっており、さらに過去を遡ると、2022 年 Q2 の 391 件以来の最多件数を記録している。

（注6）Core Weave は、AI や機械学習などの計算負荷の高いアプリケーション向けに、クラウドベースの GPU（画像処理装置）コンピューティング・インフラを提供している

図表 8 四半期別 Exit の推移（2022 Q1～2025 Q1）

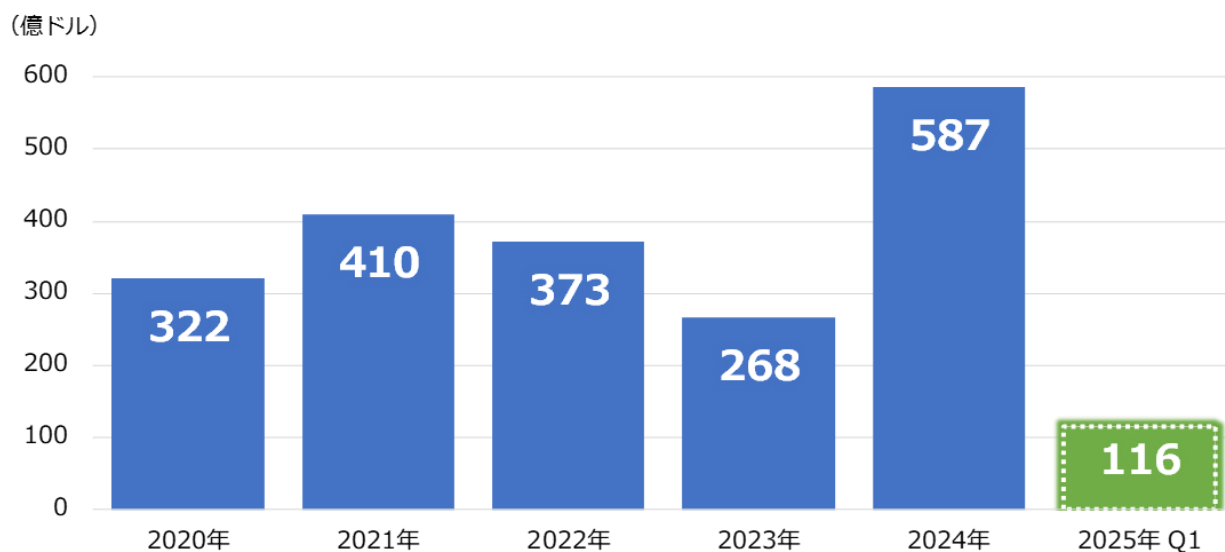


（出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成）

4. VC 出資先企業のデット調達金額の推移

VC 出資先企業の債券発行や借入によるデット調達金額は、2024 年に既往ピークを記録したが、米国金利の高止まり感もあってか、2025 年 Q1 は 116 億ドルと、前年（2024 年）通年実績（587 億ドル）の 19.8% のラップにとどまっている。

図表 9 VC 出資先企業のデット調達金額の推移



（出所：Venture Monitor Q1 2025、VEC 作成）

以 上